

特集

伝えていきたい「平和の尊さ」

# 渥美半島の戦争遺跡

昭和初期の渥美半島。

そこには

旧日本陸軍の軍事施設

『伊良湖射場』がありました。

日本の犠牲者は310万人以上

だったといわれる第二次世界大戦。

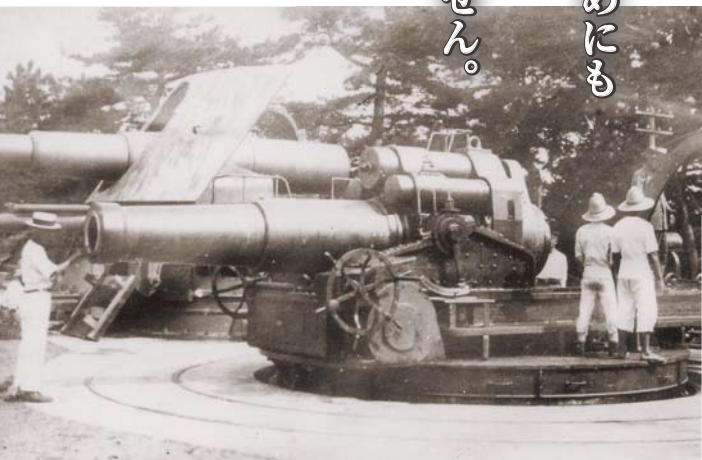
悲惨な戦争を

二度と繰り返さないためにも

私たちは、子や孫へ

伝えていかねばなりません。

戦争のことを……



## 「終戦」

から、67年が経過した今。戦争を知らない世代が多くなり、平和に暮らせることが当たり前のように感じる方も多いと思います。しかし、明治後期から昭和初期にかけての渥美半島には、多くの軍事関連施設があり、物々しい雰囲気でした。現在、市内に残る戦争遺跡をもとに、歴史をひもといってみましょう。

## 戦争遺跡とは

戦争遺跡とは、戦争の痕跡などのことで、戦争のために造られた施設や、戦争で被害を受けた建物などを含みます。これらは、かつての戦争の時代を物語る、歴史の資料といえます。

今回は、施設や写真などが現存するものを中心に紹介します。

### 写真キャプション

- ① 気象塔兼展望塔と無線電信所
- ② 気象塔兼展望塔の上から田戸神社方面を望む
- ③ 試験されていた大砲
- ④ 旧砲床の風景
- ⑤ 田戸神社付近（伊良湖射場入口）
- ⑥ 気象塔兼展望塔の上での気象観測の様子
- ⑦ 軽便鉄道

※いずれの写真も、昭和初期の伊良湖射場の様子（田原市博物館蔵）